

25 番	長江 秀幸 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>1. 本市の地球温暖化対策の取り組みについて</p> <p>【質問趣旨】 豪雨や熱波、干ばつなど、世界各地で気象災害が頻発している。要因に人類の活動による地球温暖化が指摘されており、解決に向けた各国の協調だけでなく、足元の有効な取り組みを広めることが大切である。温暖化を止めるには原因とされる二酸化炭素（CO₂）など温室効果ガスの排出削減が欠かせない。環境省は現在、脱炭素につながる豊かな暮らしを「デコ活」と称し、自治体や企業などと連携して、その後押しに力を入れている。デコ活は、脱炭素を意味する英単語「デカーボナイゼーション」と「エコ」を含む“デコ”と活動・生活の</p>	<p>(1) 第4次エコオフィスプランせと 瀬戸市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）について</p>	<p>① 再生可能エネルギー（太陽光・風力・地熱・中小水力・バイオマス等）設備等の導入への取組状況はどのようなか伺う。</p> <p>② Z E B（ゼブ）とは、「先進的な建築設計によるエネルギー負荷の抑制やパッシブ技術の採用による自然エネルギーの積極的な活用、高効率な設備システムの導入等により、室内環境の質を維持しつつ大幅な省エネルギー化を実現した上で、再生可能エネルギーを導入することにより、エネルギー自立度を極力高め、年間の一次エネルギー消費量の収支をゼロとすることを目指した建築物」と経済産業省資源エネルギー庁では定義している。本市におけるZ E Bの各種認証の取得状況はどのようなか伺う。</p> <p>③ 公用車に関しては、204台所有しており、次世代自動車は、内13台がハイブリッド自動車、3台が電気自動車となっている。今後も次世代自動車の導入に努められると思うが喫緊の導入予定はあるのか、今後の方針と併せて伺う。</p> <p>④ 電気自動車充電スタンドについては、本庁舎敷地内と道の駅に設置されている。公用車に関しては毎日充電しているとのことだか、市民用に関しては、庁舎敷地内、道の駅とも利用頻度が少ないが、どのように分析しているのか伺う。</p> <p>⑤ 市ホームページには、「気候変動問題や資源エネルギー問題などサステナビリティに関する課題の解決において、電気のインフラは必要不可欠であり、その一環として設置しました。」とあるが、今後も設置の拡大はしていくのか伺う。</p> <p>⑥ 公共施設において再生可能エネルギー由来電力メニューによる電力調整の取組はどのようなか伺う。</p> <p>⑦ 進捗状況の評価・点検及び改善をしてきていると思うが、これまでの実績について伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

25番	長江秀幸 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>“活”を組み合わせた造語である。LED照明や住宅の断熱化など環境にやさしい製品・サービスの利用や、ごみの削減といった具体的な取り組みを示し、国民に新しいライフスタイルへの転換を促す取り組みである。国民が無理や我慢をして脱炭素を進めるのではなく、暮らしの豊かさを感じながら取り組めるものにしようとする工夫は理解できる。大切なのは、国民が自発的に取り組みたいと思えるかどうかである。温暖化の防止は全ての人に関わる重要な課題である。多くの人が意識して脱炭素に取り組めるよう、本市としても推進していくことが必要と考え、その取り組みについて伺う。</p>	<p>(2) 瀬戸市地球温暖化対策実行計画 (区域施策編) について</p>	<p>⑧ 計画の進捗状況を市ホームページ等で毎年公表しているが、市民の反応等はどうだろうか。</p> <p>① 令和3年12月定例会において、区域施策編の策定について伺い、「愛知県が主催する地球温暖化対策計画策定塾に職員を派遣し、策定に向けて準備を進めているところである。」との答弁であった。本年度策定予定と伺うが、そのスケジュールについて伺う。</p> <p>② 実行計画における再生可能エネルギー導入の目標と実施に向けた取組が重要と考えるが、どのような計画になるのか伺う。</p> <p>③ 区域の再生可能エネルギー等の導入拡大・活用促進と省エネルギーに向けて実施している事業者向けの取組状況について伺う。</p> <p>④ 事業者向け取組として、「環境教育に係る取組」「国民運動の推進」「設備設置のための自治体独自の補助金」「EV/PHEV/FCV導入に向けた協定締結」などが考えられるが、これらの取組状況について伺う。</p> <p>⑤ 個人向けの取組として、「設備設置のための自治体独自の補助金」「省エネ改修や省エネ機器導入のための補助制度」などが考えられるが、これらの取組状況について伺う。</p> <p>⑥ 温室効果ガス排出量の算定や対策・施策の効果の把握状況について、点検は実施していくのか伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

25番	長江 秀幸 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	(3) 令和5年度版 第3次 瀬戸市環境基本計画 年次 報告書について	<p>① 市役所の取組として、令和4年度における温室効果ガスの総排出量を7.4%以上削減することを目標としていたが、6.3%の削減にとどまった。コロナ規制緩和による経済回復の影響で、世界的にLNG不足となり、石炭火力発電の割合が高まったことでCO₂排出係数が増加したとのことだが、次年度以降どのように取り組んでいくのか伺う。</p> <p>② 環境配慮に取り組んでいる事業所の数が令和4年度末で98事業所(計画策定時115事業所)となっているが、事業所数の減少の分析はどのようなか伺う。</p> <p>③ グリーンな経済システムの構築に向けて、「市民・事業者のパートナーシップ型組織、学術・研究機関等と連携した協議体発足の準備の推進。」「木材利用の促進に関する方針を刷新し、地元の環境資源を活用したビジネスの拡大に向けた体制・仕組み作りを行った」とのことだが、具体的な取組内容を伺う。</p> <p>④ 東京都千代田区は、2050年までに区内の二酸化炭素(CO₂)排出量を実質ゼロとする目標に向け、このほど区役所で区内中小企業を対象にした脱炭素経営セミナーを開催した。セミナーでは消費電力削減をテーマに、脱炭素につながる経営方法の紹介や、本年度における区の「省エネルギー改修等助成制度」に関する説明があった。中小企業は地域におけるGX(グリーントランスフォーメーション)のけん引役になると考える。GX推進に向けた勉強会の開催や、脱炭素に対応するための経営支援など支援策が必要と考えるが見解を伺う。</p> <p>⑤ せと環境塾主催の講座を実施するなど市民・事業者の環境意識の向上に努められたが、地球温暖化・脱炭素社会(低炭素社会)等のテーマがなかったように思われるが、これまでの状況と今後の取組について伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

25 番	長江 秀幸 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
		<p>⑥ 再生可能エネルギー促進のための新規補助金の導入、再生可能エネルギー普及のための啓発講座が未着手となっているが、取組状況と今後の展開について具体的に伺う。</p> <p>⑦ 第3次瀬戸市環境基本計画の中に「低炭素社会の実現に向け、自然環境等との調和を考慮した再生可能エネルギー設備の設置への配慮や、新規補助金制度など新たな支援策を構築するとともに学術・研究機関や事業者などと連携して瀬戸市独自の再生可能エネルギーを活用した新たな仕組みや設備の研究開発を進めます。」とあるが、取組が進んでいない印象がある。地球温暖化・脱炭素社会（低炭素社会）の実現に向けての市長の決意を伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。